

# 県内婚姻率No1のまち ～結婚したい人を後押しするまち～



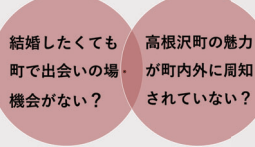
地域名 高根沢町  
パートナー名 高根沢町生涯学習課

24班 コミュニティデザイン学科 成田瑛葉 松本美羽  
建築都市デザイン 学科 工藤光一郎 黒子朱莉  
社会基盤デザイン 学科 菅野幸輝 小林昌輝

## 01 背景

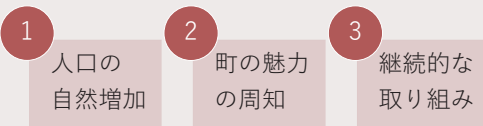
高根沢町の調査によれば、結婚願望のある単身の男性が多いのに対し、出会いの場がない、高根沢町の魅力が十分に認知されていないという背景があった。

結婚したいのに結婚できない現実がある、定住や婚活イベント参加が促進されないことが分かった。



## 02 目的

＜結婚したい人を後押しする＞  
高根沢町での婚姻を促進し、人口の自然増加を狙う。そのために、まちの魅力を周知させることと、その継続が求められる。



## 03 調査方法

それぞれ大学生、婚活イベント参加者、高根沢町役場の既婚者・未婚者を対象にアンケートおよびインタビューを行った。また実際に現場のスタッフとして婚活イベントの視察をした。



## 06 提案

得られた調査結果や考察をもとに、「イベント改善案」「イベント代替案」「セミナー」の3つの提案をした。

### 「BBQ婚」

- 既存のイベントをBBQ婚として開催。高根沢の魅力の周知、カップリング率向上を目指す。
- BBQでは高根沢町産の野菜や肉、地酒を使用→**まちの特産品のPR**をする。
- 参加費は女性2500円/男性3500円に設定し、アルコール希望者には追加料金(女性500円/男性1000円)でアルコール提供→会話の緊張感を和らげる。無料送迎バスを手配する。
- 予めネット上で提出したプロフィールカードを読んでもらい会話に費やせる時間を増やす。
- 事前に1日のスケジュールを配布、会場に掲示して持ち物や注意事項等詳細を明確にする。
- 女性の居住地、勤務地など女性の生活圏を固定したパターンでも実施→新たな出会いの創出
- 宣伝方法：公式SNS、CM、ラジオ、チラシ・ポスター、ウェブサイトの広告、ハガキ送付

### 「ノンビリ食ベアルこう！たかねざわ街コン」

- **同じ価値観・共通点**として「お酒を飲まない」方がターゲットの食ベ歩き形式の街コン。
- 高根沢の飲食店や中小商店を中心に、出店や屋台を設ける。
- ラジオやチラシだけでなく、公式SNSを活用して宣伝する。
- 居住地、年齢上限は問わず、多くの人(300名ほど)の参加が可能。
- 参加費と飲食代を分けることにより、参加費のハードルを下げる。  
また、高根沢の飲食店や中小商店に直接、利益が入るようになる。
- 会場(元気あっぶむらを想定)は終日貸切とする。公共交通機関の利用者は宝積寺駅一会場間専用バスを手配し、一般者が接触できないようにする。



### 「あなたの結婚観を変える」セミナー

- 独身の方々に**結婚の良さを伝える**ことで、結婚したいと思ってもらう。
- 結婚生活を送っている夫婦に講師をお願いする。  
→体験談や結婚に至るまでの気持ちの変化、メリット、デメリットなどを話してもらう。
- 対面とオンラインの形式を採用するが、できるだけ対面でしてもらう工夫を考える。  
→直接講師と話せる相談会や、**受講者同士でコミュニケーション**をとれる時間を設ける。
- 宣伝方法：RADIO BERRYでの告知、高根沢町のHP、公式SNS、ポスター作成



## 04 調査結果

【調査結果1】若者の結婚観のアンケート  
対象者：18～25歳の未婚の宇大生  
配布方法：Google Form 回答数：205件

- ＜明らかになったこと＞
- 結婚願望はあるが**出会いがない**
  - 25～29歳で結婚したいと考える人が多い
  - パートナーに求める条件は**内面重視**
  - 婚活イベントの**イメージはやや悪い**
  - イベント参加費の理想は男女ともに現状よりも高い

【調査結果2】婚活イベントへの視察、参加者へのインタビュー

◆イベント内カップリング数◆  
男性15人女性15人のうち**4組(30名中8名)**

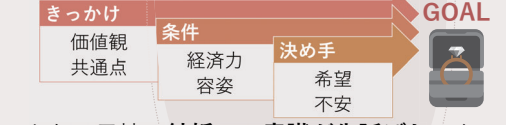
- ＜参加者、スタッフの声＞
- ・アトラクションが楽しくない
  - ・参加費は安い、あるいは妥当だ
  - ・高根沢についてあまり知らない
  - ・事前にスケジュールが分からない
  - ・全体的に盛り上がらなかった

【調査結果3】高根沢町役場の既婚、独身の方へのインタビュー

- 独身の方へのインタビュー
- ・年齢制限のためイベントに参加できない
  - ・元気あっぶむらのグランピング施設など、イベントを通して体験的に使用してみたい
- 既婚の方へのインタビュー
- ・高根沢のいいところは、落ち着いて生活できる点、中学生までの医療負担などがある
  - ・結婚はした方がいい、子供もいた方がいい

## 05 考察

3つの調査結果から、男女共通で意識しているのは**価値観と共通点**だとわかったため、「プロフィールカードを書く」「ノンアルコールの街コンを開く」などの取り組みが効果的だと考える。



また、男性は**結婚への意識が先延ばし**になる傾向がある(図1)ことがわかった。そこで「出会いの**ハードルを下げる**」「結婚への意識を変える**セミナーの開催**」が求められる。**高根沢町の名産や役場の人が思う良さが知られていない**という課題解決のためには、「**地元のお酒や野菜、お店をアピールする**」「**セミナーで周知する**」などの手段が考えられる。

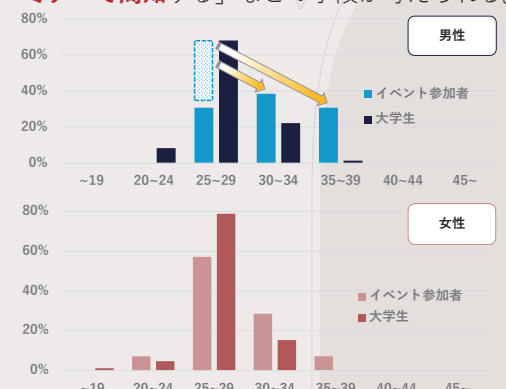


図1 イベント参加者と大学生の結婚したい年齢・意識し始めた年齢の比較

## 07 フィードバック

地域パートナーの**高根沢町生涯学習課**と主催の**RADIO BERRY**にフィードバックを頂いた。

- ・教育委員会主催の為アルコール提供×
- ・スケジュールがよく考えられていて事前に知られるのは良い
- ・カップル成立に繋がるBBQに繋がると良い
- ・BBQは人柄が分かりやすく相手を選ぶのに適しているので**来年は参考にしたい**
- ・今までアルコール提供をしていないが、一つの案として考えたい
- ・情報提供不足だったことに気付かされた

- ・飲食に**+α**があると、もっとハードルが下がって良いと思う(顔合わせやスタッフ介入)
- ・婚活イベントに店を呼ぶのではなく、フードフェスタに併せてイベントを開催
- ・年齢上限はある方が安心
- ・着眼点◎ ・SNSでのPR戦略◎
- ・飲食店の協力は得られそう(やる気ある方が増えてきてる!)ので、実現可能性が高い
- ・貸し切りは困難だが、逆に公開することで活気アップのアピールチャンス

- ・結婚のデメリットを伝えていいの?
- ・複数の夫婦の話を聞けると◎
- ・結婚への不安や悩みを参加者同士で雑談したり、講師に相談できる機会になれば◎
- ・結婚願望のない方に来てもらう工夫が必要
- ・結婚の必要性は年々減ってきているので意識改革をするのは大事
- ・夫婦でも新婚さんをお願いするとより◎
- ・デメリットの話で結婚する気を削がない工夫が必要